

REGISTERED UTILITY MODEL ABSTRACTS OF JAPAN^(U)

(11)Registered number : **3035457**
(43)Date of registration of application : **25.12.1996**

(51)Int.Cl. **A45D 19/00**

(21)Application number :	H08-9727	(71)Applicant :	000113274 HOYU CO LTD 501, Tokugawa 1-chome, Higashi-ku, Nagoya, Japan
(22)Date of filing :	04.09.1996	(72)Inventor	Akira WAKASUGI
		(72) Inventor	Katsuhito KATO
		(72)Inventor	Toshio WATANABE
		(72)Inventor	Akihiro TAKAMI

(54) **【Title of the device】 TRAY FOR HAIR-DYE**

(57) **【Abstract】**

【PROBLEM TO BE SOLVED】 To provide a tray for hair-dye which a small comb holds at the bottom of the tray for hair-dye.

【SOLUTION】 A tray for hair-dye which provides at least one or more salient to hold a small comb at the bottom.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3035457号

(45) 発行日 平成9年(1997)3月18日

(24) 登録日 平成8年(1996)12月25日

(51) Int.Cl.⁶

A 4 5 D 19/00

識別記号

庁内整理番号

F I

A 4 5 D 19/00

技術表示箇所

B

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願平8-9727

(22) 出願日 平成8年(1996)9月4日

(73) 実用新案権者 000113274

ホーユー株式会社

愛知県名古屋市中区徳川1丁目501番地

(72) 考案者 若杉 章

愛知県愛知郡長久手町大字長湫字榎木1番地の12 ホーユー株式会社内

(72) 考案者 加藤 克人

愛知県愛知郡長久手町大字長湫字榎木1番地の12 ホーユー株式会社内

(72) 考案者 渡邊 俊雄

愛知県瀬戸市山の田町106番地の2 ホーユー株式会社瀬戸工場内

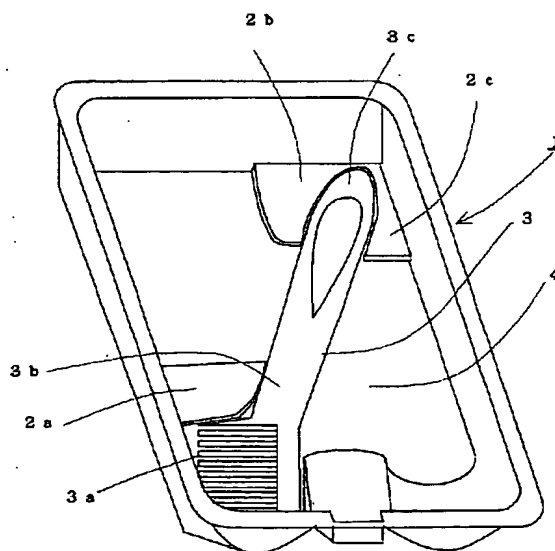
続き有

(54) 【考案の名称】 染毛用トレイ

(57) 【要約】

【課題】 染毛用の小櫛を底部に固定できる染毛用のトレイを提供する。

【解決手段】 底部に小櫛を固定するための少なくとも一つ以上の凸部を設けたことを特徴とする染毛用トレイ。



(2)

実登3035457

1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 底部に小櫛を固定するための少なくとも一つ以上の凸部を設けたことを特徴とする染毛用トレイ。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の染毛用トレイに小櫛をセットした状＊

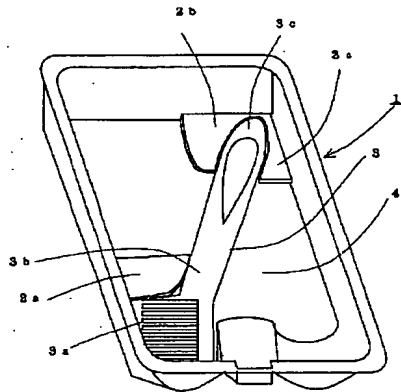
＊態の斜視図である。

【図2】 従来の染毛用ブラシの正面図である。

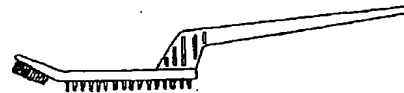
【符号の説明】

1…染毛用トレイ 2a, 2b, 2c…凸部 3…小櫛

【図1】



【図2】



フロントページの続き

(72)考案者 高見 昭寛

愛知県瀬戸市山の田町106番地の2 ホー
ユー株式会社瀬戸工場内

【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

本考案は染毛用トレイに関するもので、詳しくは、染毛用の小櫛を底部に固定できる染毛用のトレイに関する。

【0002】

【従来の技術】

二剤式クリーム状染毛剤はチューブ2本、染毛用ブラシ、染毛用手袋および能書がトレイの中にセットされて小箱の中に収容されている。使用する場合、各チューブから染毛用ブラシのブラシ上に排出し、そのまま毛髪を梳くことにより染毛剤第1剤と同第2剤の混合と毛髪への塗布を同時に行うことができる。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

しかし、添付の染毛用ブラシでは生え際等を部分的に染毛することが困難であり、地肌などに染毛液が付着する恐れがあった。

【0004】

従来、図2の実開平2-15530号に開示されるように、染毛用ブラシの先端部に刷毛を設けて生え際等を染毛しやすくしたものもあった。しかし、通常はブラシ部で頭髮全体を染毛した後、刷毛部で生え際等を染毛するものであるが、ブラシ部には染毛液が付着したままであるため、皮膚や衣服などに触れて汚染する恐れがあった。また、染毛用ブラシと生え際用の小櫛を入れたものもあるが、製造や輸送中に紛失および脱落の恐れがあった。

【0005】

本考案は染毛用ブラシの他に生え際用の小櫛を添付することにより、使用者の染毛操作をより簡便にしたものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本考案は底部に小櫛を固定するための少なくとも一つ以上の凸部を設けたことを特徴とする染毛用トレイである。

【0007】

【考案の実施の形態】

染毛用トレイの底部に小櫛をセットし、その上に染毛用第1剤を充填したチューブ、染毛用第2剤を充填したチューブを各1本、染毛用ブラシおよび能書を入れて小箱の中に収容する。小櫛は染毛用トレイの底部に設けられた少なくとも一つ以上の凸部により固定されているので、製造、輸送中などに紛失、脱落の恐れがない。

【0008】

【実施例】 本考案を添付図面にそって説明するに、図1は本考案の染毛用トレイに小櫛をセットした状態を示す斜視図である。

【0009】

プラスチック製の染毛用トレイ1の底部4に小櫛3を固定収容するための凸部2を複数個設けている。なお、凸部2は染毛用トレイ1および小櫛3の形状により1つでもよい。本実施例では小櫛3の取手部3cを固定するための凸部2b、2c、小櫛3の首部3bを固定するための凸部2aを設けている。また小櫛3の櫛部3aを固定する凸部を更に設けてもよい。このようにセットされた小櫛3は取り出すまで固定された状態であるので、製造工程や輸送中などに脱落して紛失する恐れがない。

【0010】

使用する場合、各チューブから染毛用ブラシのブラシ上に排出し、そのまま毛髪を梳くことにより頭髮全体の染毛操作を行った後、少量の染毛剤を染毛用トレイ1の中に絞り出し、小櫛3で混合した後、櫛部3aに少量取り、生え際や揉上等に塗布することにより、染毛液の塗り残しを無くすることができる。

【0011】

【考案の効果】

染毛用の小櫛をトレイの底部に固定収容できる。